



ごあいさつ

日頃からカリタスジャパンの活動にご協力くださり、心より感謝申し上げます。皆様とともに歩んだ 2022 年度をふり返り、その活動をここに報告いたします。

去年は、通常の活動に加え、国内外におけるコロナ禍によって引き起こされた諸問題への対応が多く行われました。また、特筆すべき点として国内における難民支援が挙げられます。しかし昨年度行われた最も大きな支援は、ウクライナ戦争に関する活動です。2 月 24 日にロシアによって始められたウクライナに対する大規模軍事侵攻は、多くの民間人、軍人の命を奪ってきました。今、この瞬間も、空襲警報におびえながら、家族や友人の死を悲しみながら、遠く離れた地で戦う家族の無事を祈りながら生きる人たちがいます。神の愛を地上で表すことを目指す団体として、このような非人間的な行動を一刻も早く止めるよう訴えたいと思います。

ウクライナのカリタスはすぐに支援活動を開始し、1 年で約 270 万人を支援してきました。実は、昨年 3 月、激戦地のマリウポリで、カリタスマリウポリのスタッフ 2 名とその家族 5 名が、避難先のカリタスの事務所で砲撃され死亡しました。カリタスは問題が起きてから駆けつける支援団体ではなく、問題が起こる前からそこで活動している団体です。スタッフはその地の一市民であり、人々とともに苦しみ、助け合い、立ち上がっていくのです。周辺国のカリタスもウクライナ難民の支援を続けています。カリタスジャパンは、こうした活動を今後も継続して支援していきます。

この冊子で紹介されているのは、活動の場所や内容、支援金額ですが、その裏には困難に直面する人々の思い、支援する人々の思い、そして募金と祈りによって歩みをともにしてくださる皆様の思いがあります。カリタスは、その思いをつなぎ、ともに歩むための道具です。どうか今後とも皆様のお祈りとご協力をお願いいたします。

2023 年 2 月 26 日

カリタスジャパン担当司教 成井 大介

2022 年度 献金・募金額報告

2022 年度献金・募金総額	¥371,291,281
四旬節献金	¥56,866,896
国内援助	¥6,236,279
海外援助	¥65,478,075
国内緊急災害	¥18,681,973
(新型コロナ緊急募金)	¥5,449,969)
海外緊急災害	¥196,562,930
(ウクライナ危機人道支援募金)	¥195,876,243)
クリスマス募金	¥16,953,978
マンスリーサポーター募金	¥9,325,605
事務局運営寄付	¥1,185,545

国際カリタス TOGETHER WE キャンペーン

7月

- 司教総会 キャンペーン開始（日本における実質的なキャンペーン開始）。
- カリタスジャパンニュースレターWe Are Caritas（以下 WAC）25号（7月15日）ならびにキャンペーン賛同書の配布開始。
- 各教区にて、カリタスジャパン（以下 CJ）教区担当者を中心に「教区キャンペーンチーム」の結成を検討するなど、各教区でのキャンペーンの展開について、CJ事務局と話し合い、協働しながら進める。

8月

- カトリック学校の取り組み
カトリック学校の教職員（社会科、総合学習科、宗教科等）と CJ事務局にてオンラインミーティングを実施。

9月

- 「すべてのいのちを守る月間」（9月1日-10月4日）
WAC25号にて、回勅『ラウダート・シ』『兄弟の皆さん』の中で心に響く箇所を募集し、カリタスの支援活動写真とともに日々の言葉としてフェイスブックにて掲載。
- 社会司教委員会出前研修（名古屋教区）
名古屋教区司祭集會にて、キャンペーンについての概要の説明と教区での進め方についての分かち合いを実施。

10月

- 国際カリタス Awareness Week 参加。
CJより、総合的エコロジーの周知内容、カリタス南相馬の活動（ボランティアの現状、カリタス農園、コロナ下における技能実習生への支援など）を紹介した。フランシスコ来日時のメッセージ等を掲載。教皇フランシスコ来日時の「東日本大震災被災者の集い」における教皇のメッセージには、総合的エコロジーの視点がちりばめられている。東日本大震災の支援活動を通して、それぞれの小教区、共同体にて「ケアの共同体」に向けての活動が続けられている。
- CJ ウェブサイトに「ともに」のページを作成。
<https://www.caritas.jp/2023/02/16/5811/> にてキャンペーンテーマに関連する様々な活動を掲載。

11月

- 大分県信徒使徒職評議会研修会「TOGETHER WEーともにケアの共同体をつくるために」
キャンペーンの概要紹介と分かち合いを実施。

12月

- WAC26号にて、アドベントカレンダー「TOGETHER WE 祈りのリース」を作成。
12月1日から24日までの毎日、支援先の皆さんの声、叫びや、回勅『兄弟の皆さん』、『ラウダート・シ』の言葉を掲載した。またそれをフェイスブックに掲載。



四旬節「愛の献金」 キャンペーン

- 2022年キャンペーンのテーマ
「たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取るようになります。ですから、今、時のある間に、すべての人に対して、善を行いましょう」（ガラテヤ 6・9-10a）
- 四旬節キャンペーン小冊子 53,500部 発行
教皇四旬節メッセージ、支援先プロジェクトの紹介などを掲載。
- 組み立て式募金箱 20,000部 発行
- 献金袋 57,000部 発行
- ポスター 2,400部 発行



援助活動

2022 年度 援助総額 ￥237,381,855

地域別支援額（千円）

日本国内					35,001	15%
アジア・オセアニア					53,532	23%
アジア全般	15,095	スリランカ	1,382	バングラデシュ	8,355	
インド	1,417	ネパール	5,737	フィリピン	1,300	
インドネシア	1,467	パキスタン	10,757	モンゴル	5,202	
キルギスタン	2,820					
アフリカ					24,891	10%
エチオピア	6,098	中央アフリカ	1,321	マダガスカル	1,352	
エリトリア	1,379	南部アフリカ	2,578	マラウイ	1,359	
コンゴ民主共和国	1,381	ニジェール	1,373	マリ	1,424	
スーダン	1,321	ブルキナファソ	1,424	南スーダン	1,148	
ソマリア	1,446	ベナン	1,287			
中東					2,581	1%
パレスチナ	1,424	レバノン	1,157			
欧州					119,463	50%
ウクライナ	26,885	バチカン	13,046	モルドバ	6,749	
スロバキア	19,689	ポーランド	19,566	ルーマニア	13,936	
チェコ	19,592					
ラテンアメリカ					1,914	1%
チリ	1,161	ブラジル	753			

2022 年度援助実績

国名/教区	援助活動名	援助団体	援助金（円）
海外一般（14 件/47 件）			50,406,254
バングラデシュ	チッタゴン丘陵地帯における少数民族のための教育プログラム	カリタスバングラデシュ	5,719,029
ネパール	安全な移住と持続可能な再統合事業	カリタスネパール	5,737,441
モンゴル	2022 年組織強化支援	カリタスモンゴル	1,734,000
モンゴル	デイケアセンター	カリタスモンゴル	3,468,000
パキスタン	グジャール川の強制立ち退き被災世帯の生活再建と教育支援	カリタスカラチ	3,468,000
キルギスタン	カリタスキルギス組織開発支援	カリタスキルギスタン	2,820,132
キルギスタン	2022 年夏季天文学キャンプ支援	カリタスキルギスタン	
南部アフリカ	IDCS 組織開発及び能力強化支援	カリタスアフリカ	2,578,200
エチオピア	気候変動適応・社会経済力強化プロジェクト	カリタスエチオピア	3,402,351
パキスタン	パンジャブにおける（食料）緊急支援	カリタスファイザラバード	1,617,979
国際カリタス	人道・緊急支援への貢献	国際カリタス	11,570,400
ブラジル	11 回 カリタス ルゾフォニア フォーラム	カリタスブラジル	753,400
国際カリタス	国際カリタス「女性のリーダーシップ」会議	国際カリタス	1,475,100
その他			6,062,222
国際カリタス緊急支援要請（25 件/47 件）			45,556,981
レバノン	レバノンの多分野における緊急支援 2022	カリタスレバノン	1,156,600
ベナン	2021 年ベナン共和国洪水災害への対応	カリタスベナン	1,287,400
エチオピア	4 州における人道的対応と復興支援プロジェクト	カリタスエチオピア	1,299,800
スーダン	東スーダンのエチオピア難民に対する人道支援	CAFOD スーダン事務所	1,320,800
南スーダン	7 教区での、紛争への緊急対応と災害被災者への早期復興支援	カリタス南スーダン	1,148,400
中央アフリカ	政治的対立による被災者のための緊急支援プログラム	カリタス中央アフリカ	1,320,800
フィリピン	台風オデット（ライ）の被災地緊急復興支援	カリタスフィリピン	1,299,800

チリ	チリ北部のベネズエラ人移民への人道支援	カリタスチリ	1,160,600
バングラデシュ	コックスバザールのミャンマー難民と地域住民への支援活動 2022	カリタスバングラデシュ	1,289,100
マダガスカル	サイクロンアナ、バツライ、エムナティ対応支援	カリタスマダガスカル	1,352,100
エリトリア	エリトリアにおける干ばつレジリエンスと食の安全プログラム	CAFOD 東部アフリカ事務所	1,378,400
マリ	食糧不安世帯へのマルチセクター支援	カリタスマリ	1,424,300
パレスチナ	ガザ地区適応能力強化促進	カリタスエルサレム	1,424,300
ブルキナファソ	食料と栄養の安全保障向上のための緊急対応	カリタスブルキナファソ	1,424,300
パキスタン	アフガン難民サポートプログラム	カリタスパキスタン	1,427,500
スリランカ	スリランカにおける経済危機の被害者のレジリエンス強化	カリタススリランカ	1,382,200
ニジェール	ニジェールの避難民、先住民族の生活環境改善支援	カリタスニジェール	1,373,300
インド	洪水被災者への人道的支援	カリタスインド	1,416,800
バングラデシュ	バングラデシュ北部、東北部の洪水復興支援	カリタスバングラデシュ	1,346,600
パキスタン	豪雨と洪水への緊急対応	カリタスパキスタン	4,243,700
ソマリア	ソマリアにおける干ばつと食糧難への緊急対応	カリタスソマリア/トロケアソマリア	1,446,300
エチオピア	深刻な干ばつによる被災者支援	カリタスエチオピア	1,395,700
コンゴ	武装集団や民兵の活動の犠牲者に対する緊急援助	カリタスコンゴ	1,380,500
インドネシア	西ジャワ（シアンジュール）地震緊急対応	カリタスインドネシア	1,466,700
その他	紛争被害者への人道支援		10,390,981
ウクライナ緊急人道支援（9件/47件）			106,417,800
ウクライナ	ウクライナでの大規模攻撃に対する緊急対応	カリタスウクライナ	13,363,900
モルドバ	ウクライナ難民への緊急対応	カリタスモルドバ	6,749,500
ポーランド	紛争の影響を受けたウクライナ人への緊急対応	カリタスポーランド	6,715,500
ルーマニア	ウクライナ難民への中長期的対応	カリタスルーマニア	6,795,500
チェコスロバキア	ウクライナ難民への統合的人道支援（追加支援）	カリタスチェコ	19,592,300
ウクライナ	ウクライナ戦争下での継続的支援	カリタススベス	13,521,000
スロバキア	紛争の影響を受けたウクライナ難民への緊急対応	カリタススロバキア	19,688,800
ポーランド	ウクライナ戦争による被災者のサポート	カリタスポーランド	12,850,300
ルーマニア	ウクライナ難民対応 2023（カリタスルーマニア）	カリタスルーマニア	7,141,000
新型コロナ（国内8件/17件）			12,660,000
長崎教区	長崎おとな食堂実行委員会	長崎おとな食堂	200,000
東京教区	主にひとり親生活困窮家庭への食支援プロジェクト	フードバンク TAMA	1,700,000
名古屋教区	新型コロナ支援シェルター運営(2021年)	愛の実行運動本部	2,000,000
東京教区	コロナ禍で孤立した元受刑者・依存症者のための24時間支援事業	オンブレ・ジャパン	1,760,000
さいたま教区	コロナ禍で生活困窮・ホームレス状態にある方相談支援・住居支援事業	ほっとプラス	2,000,000
東京教区	カトリック葛西教会ベトナム支援グループ	カトリック葛西教会	1,000,000
東京教区	日本で暮らすミャンマー難民、コミュニティへの緊急生活支援事業	PEACE	2,000,000
名古屋教区	外国人生活困窮者支援シェルター運営(2022年)	愛の実行運動本部	2,000,000
国内一般（9件/17件）			22,340,820
さいたま教区	仮放免者生活実態調査と報告事業	北関東医療相談会	900,000
東京教区	異文化・多世代間交流を土台にした東日本大震災被災地支援	地球対話ラボ	4,253,820
仙台教区	コミュニティ支援事業とボランティアコーディネート事業	カリタス南三陸	2,412,000
大阪教区	ゴスペルを用いた地域福祉事業	リカバリーライフ	1,935,000
大分教区	新規グループホーム家財道具整備	iyashino 里	1,600,000
東京教区	アフガニスタン元留学生と家族の生活再建支援事業	日本国際社会事業団	2,240,000
京都教区	ミャンマー避難民の日本への渡航支援及び緊急生活支援事業	難民ナウ	2,000,000
東京教区	台風15号 静岡県内の被災者支援	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	5,000,000
東京教区	身寄りのない出所者の受け皿としての宿泊・生活支援事業	マザーハウス	2,000,000

啓発部会

国際カリタスキャンペーン「TOGETHER WE」（以下 CI キャンペーン）にあたり、啓発部会では「追いやられた人々の背景への理解を深め、ケアの文化を広め、育てるための発信源、場の提供者となる」ことを軸に据えて活動を進めていく。「気づきの年」である本年の前半は、キャンペーン周知のための内容について討議し、懸案であった動画作成について、キャンペーンテーマに沿った形での作成を進める形になった。また後半は、2023 年「行動の年」の活動に向けて計画を検討した。

2 月

- 貧困と社会的孤立の課題に関し、共通課題の整理や明確化を行い、共有した。
- WAC26 号と四旬節小冊子での活動内容紹介、フェイスブックでの「地球、貧しい人々の叫びにどうこたえるか」をテーマとした連続投稿（22 回・継続中）を継続することとした。
- Japan Youth Day（以下 JYD）を通して若者との関係強化を進め、神学校、若年修道者との集いと出前研修とのリンクを検討した。
（コロナ禍で JYD は 2020 年から 3 年連続延期、他の集いも開催困難となり、代替手段を模索中。）

3 月

- CI キャンペーン概要に関する資料を検討、日本での展開について意見交換を重ね、啓発部会は「『追いやられた人々』に対する』ケアの文化を広め、育てるための発信源、場の提供者となる」ことを役割として活動することを確認した。

5 月

- CI キャンペーン関連ウェビナー、CAFOD の国内啓発の取組み確認を通して、CJ での取組みを検討、キャンペーン概要説明動画の他にも、動画資料の必要性を共有した。

7 月

- CI キャンペーン
 - 既存の教区内活動等をキャンペーンに結び付け、活性化に役立ててもらうため、各教区担当者、キャンペーンチームと協働することを確認した。
 - 「すべてのいのちを守るための月間」の取組みに関し、回勅を日本語にする際の言葉選び、その注意点について意見交換を行った。
 - 動画制作について話し合い、具体的な提案が出された。CJ 自体の紹介ツールについても検討の必要性が意見された。

9 月

- CI キャンペーン
2023 年「行動の年」には啓発部会も現地視察、学習機会を持つことを計画に含むことを決定した。

11 月

- 2023 年活動計画
- CI キャンペーンの動画作成に関して、材料、協力依頼先などの確認と共有を行った。

教区担当者会議

■2022 年度定例全国教区担当者会議

日 程：2022 年 10 月 3-5 日 開催場所：カトリック河原町教会（京都教区司教座教会）

議 題：カリタスジャパンについてのオリエンテーション／国際カリタスキャンペーン TOGETHER WE／
四旬節キャンペーン／中期戦略計画振り返り

現地学習：竹本了悟（僧侶、TERA Energy）によるお話し



（宗）カトリック中央協議会

カリタス ジャパン

住所 〒135-8585 江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館

Phone 03-5632-4439 Fax 03-5632-4464

E-mail info@caritas.jp URL <https://www.caritas.jp>

表紙写真：鳩の焼き物を作る子どもたち（平和の象徴である鳩を焼くことによって、強く反戦の意思を示している）。
カリタス子どもセンター（ドニプロ／ウクライナ）写真：Caritas Ukraine ©Caritas international